

「もったいない」を「わかちあい」・「ありがとう」へ

基本情報

2023年度の結果

寄贈食品計 **350.6ト** 前年比96.0% 提供食品計 **342.0ト** 前年比92.9%

コロナの5類移行に伴い、世の中で余剰米が減った影響から、2023年度はお米の寄贈量が大幅に減少しました。一方、メーカー様のご協力で、パン・冷凍食品の入庫が増加したことあり、寄贈量の合計は、昨年に次いで350トを超えました。

3月の結果

寄贈食品計	31.5ト
(前年比77.9% 前月比92.7%)	
企業・生協等	19.3ト
フードドライブ	12.2ト
寄付金購入	0.0ト

提供食品計	332回 26.7t
(前年比67.7% 前月比86.1%)	
行政・社協	53回 2.4ト
地域フードバンク	97回 12.7ト
子ども食堂等	152回 8.8ト
施設・福祉・外国関連	43回 2.6ト

寄贈団体

○事業者寄贈

マルハニチロ(冷凍総菜、冷凍野菜等)、コカ・コーラ(飲料)、山崎製パン(パン)、UAゼンセン神奈川支部(米)、ミツハシ(米)、相鉄ホールディングス(米)、相鉄ローゼン(米)、葉山町(和風リゾット)、旭化成労組(レトルトごはん)、日本食研(タレ、豚肉)日本農産工業(スープ)、ユーコープ、パルシステム神奈川

○防災備蓄品

KDDI、東京電力パワーブリッド、NTTデータMSE、東芝横浜事業所

○フードドライブ

イトーヨーカ堂、そうてつローゼン、無印良品、かながわ学生ボランティア連合メスズキヤ、JP労組神奈川県連、トーコービルシステム、綾瀬市社協、三浦半島労協、中地区教職員組合・西湘労協、横須賀市、損保ジャパン、ライフプラザ新緑、ニデック、クラダシ、神奈川県庁、共生、新潟運輸、高島屋横浜店、イオン、アルテマ技研、ワークピア横浜、日本労働組合連合会、大塚商会、JCA、aupayマーケット、ファンケル、栄区役所、東芝ソリューションサービス、生長の家、相鉄ビルマネジメント、金泉寺、旭化成労働組合、三井信託銀行、コープライフサービス、国民共済COOP JAさがみ、生活クラブ、ユーコープ、パルシステム

提供先

(敬称略)

○行政・社協・委託 33団体

横浜市・区社協、横浜ひとり親支援(横浜市母子寡婦福祉会)、相模原市、海老名市、綾瀬市社協、厚木市、平塚市社協、鎌倉市、藤沢市社協、横須賀市、二宮町社協、茅ヶ崎市、葉山町、小田原市、伊勢原市

○地域のフードバンク 48団体

報徳支援センター、くろーばーマーケット、お福分けの会、さくらの森・親子サポートネット、ココロにたねまき、FBふじさわ、FBプラス、川崎医療生協、フードバンクTAMA、フードコミュニティ、ユナイテッドかながわ、FB浜っ子南、小田原たすけあい、おもしろネットワーク、カナン・キリスト教会、他

○子ども食堂居場所等 94団体

ふれあいっこ三ツ沢、横浜市立大学、アフリカヘリテージコミュニティ、満福うえのまち食堂、キッズカフェ杉田、フリースペースたまりば、ひまわり、子ども食堂ハッピー、宮ノマエストロ、CoCoLoの会、子ども食堂がじゅまる、おむすびの会、ドリームセンター子どもカフェ、はくばく食堂、よこすかながや、みんなの食卓kitchenあんぶれら、SISA、青丘社、かえて子ども食堂、他

○福祉・病院・外国関係

ブラジルSolidario、カラー、横浜市福祉事業経営者会、国際交流支援B.P、湘南つばさの家、地域福祉を考える会、小山地域包括支援センター、他

合意書締結団体

寄贈締結団体	298団体
提供締結団体	363団体
行政・社協	63団体
市民団体	303団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)	

賛助会員寄付状況

団体会員	227団体	730万円
個人会員	318人	187.4万円
<寄付>		
2023年度	12,102,254円	
開設からの累計	89,886,830円	

フードドライブ回収拠点 351か所

【事業推進委員メッセージ】

生活協同組合ユーコープとJA横浜からの寄付により2つのオーダーメイド助成を実施しました！

公益財団法人かながわ生き生き市民基金
事務局長 土屋 誠司さん



かながわ生き生き市民基金では3月に決定した第21期福祉たすけあい助成」と合わせて、2つのオーダーメイド助成も決定いたしました。

「ユーコープ子ども応援助成(第3期)」は、子どもの貧困や教育の支援のために、書き損じハガキなどを寄付の原資として、地域で活動する子ども食堂を応援するための助成を21年度から実施し、今年度より対象範囲を広く子どもを応援する助成として43団体に200万円の助成を行いました。

「第2回 JA横浜子どもの未来支援助成」は、昨年度、JA横浜の創立20周年事業として、深刻化する子どもの貧困という社会課題の解決に向けて取り組む団体に総額1,000万円を助成したプログラムに引き続き、今年度は、子どもの貧困問題の解決に向けて活動する非営利団体の中で、無料塾・フリースクールなどの学習支援活動団体を助成対象に13団体に対して、総額200万円の助成を行いました。

今回、生活協同組合ユーコープ、JA横浜という、フードバンクかながわで連帯する団体とこのような助成を実施することができまして、とても喜ばしく思います。

これからも、意志ある市民や団体の皆様からのご寄付により県内の市民団体を応援していきたいと思ひます。引き続き、皆様からの温かいご支援をよろしく願ひいたします。



「ありがとうの声」をご紹介します

<フードバンクかながわが提供する食品を活用している地域団体より>

物価高騰は特にひとり親家庭では子どもへの影響が大きく、先が見えないだけに定期的な食品配付は子どもの健やかな成長につながるため、とてもありがたいです。ひとり親家庭の保護者や子どもは体調を崩しやすいように感じる時があります。食事をきちんと摂ることを、食品配付によって支えていけたらと思います。食品配付は保護者のお話を聴く大切な機会となっています。今後も食品提供をよろしく願ひいたします。

(NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク様)

<地域の支援団体を通じて食品を受け取った方々より>

♥子どもが帰りに道にお菓子を食べて喜んでいました★ お菓子や食材は少しずつ食べさせてもらいます。

♥食べ盛りの子どもがいて、いつもお米があり、調味料もあるととても助かります。レトルト食品は子ども一人でも食べられて有難いです。

♥食料が買えず困っていたところ、市役所から紹介されて助かりました。物価高で食料品が高騰しているので助かります。

♥何よりお米がありがたいです。レトルト食品も子どもが温めて食べられるので助かります

3月のフードバンク



23年度の食品の寄贈量は昨年より若干少ないとはいえ、350トン以上にのぼりました。今月は企業様、団体様や生協によるフードドライブ品が続々と倉庫に届き、たくさんのボランティアさんが毎日食品の仕分け作業に大活躍してくださっています。またフードバンクからの「お米が足りません（泣）」の声に、いくつもの団体が「お米一合運動」に取り組んでくださり、多くの方からご厚意が寄せられました。経済的にも、社会的にも、厳しい状況が続いていますが、新年度も引き続き、食べ物を通じて、地域のたすけあいの輪を広げていきましょう



フードバンクかながわ
ホームページ

お米をありがとうございます！



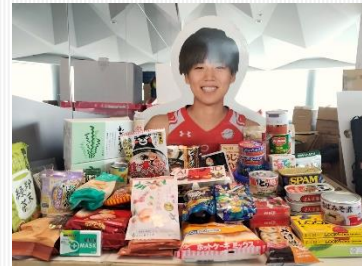
かながわ大学生ボランティア連合様



三浦半島労福協様



こくみん共済COOP様
フードドライブ品



富士通株式会社女子バスケットボール
「富士通レッドウェブ」試合会場フードドライブ



ユーコープ湘南2エリア会社



綾瀬市社協様



ニデック様 フードドライブ品



ユーコープ様 フードドライブ品



トーコービルシステム様 災害備蓄品



損保ジャパン様 災害備蓄品

体験研修



旭化成労働組合の皆様



日本協同組合連携機構の皆様

2023年度食品ロス削減 コースターデザインコンテスト

最優秀賞・優秀賞発表

- ◆小学生部門 最優秀賞：加藤紬さん
優秀賞：大場柚月さん、杉崎香奈さん
- ◆中高生部門 最優秀賞：川久保智子さん
優秀賞：河瀬瑛夢さん、河野百花さん
- ◆一般部門 最優秀賞：北郷美紗子さん
優秀賞：斎藤由里さん、内藤努さん



上から
小学生部門、
中高生部門、
一般部門

左：最優秀賞、
中央・右：優秀賞

応募総数 191点

ありがとう
ございました



生長の家の皆様



横浜YMCA運営の学童保育 春休み学習・体験会



3月28日、「横須賀学院小学校アフタースクール」の児童33名が来てくれました。フードバンクのしくみや食品ロスについて学んだ後、1～2年生はお米を1.2kg袋に詰めて封をする作業を、3～6年生は寄贈された食品の仕分け作業を体験しました。

お米のご寄付をお願いいたします

*米一合から何トンでもお受けします。
*お金のご寄付やお米券もお受けしています。